

2022年6月2日

横浜ゴムの「ADVAN」が SUBARU 新型 BEV「SOLTERRA」に新車装着

横浜ゴム（株）は、（株）SUBARU が 2022 年年中までに日本、米国・カナダ、欧州、中国などに導入を開始する新型 BEV^{※1}「SOLTERRA（ソルテラ）」の新車装着（OE）用タイヤとして、「ADVAN V61（アドバン・ブイ・ロクイチ）」の納入を開始しました。装着サイズは 235/60R18 103H です。

「ADVAN V61」は、安定した操作性と乗り心地に加え、耐摩耗性、耐ハイドロプレーニング性能を達成した上で、パターンによるノイズを抑えた高い静粛性と転がり抵抗の大幅な低減を両立させています。本タイヤの開発では「人間特有のひらめき」や「発想力」と「AI が得意とする膨大なデータ処理能力との協奏」によって新たな発見を促しデジタル革新を目指す、当社独自の AI 利活用フレームワーク「HAICoLab^{※2}（ハイコラボ）」を活用し、特に EV に求められる高い静粛性目標達成に当たっては、「HAICoLab」を支える技術のひとつである 進化計算（遺伝的アルゴリズム）により、最適なピッチ配列としました。現実データとシミュレーションによる仮想データを生成・収集し、AI で予測・分析・探索することで得た新たな知見が、本製品の技術開発の革新に活かされています。

高い性能と品質で評価されているグローバルフラッグシップブランド「ADVAN」シリーズは、世界をリードする高性能プレミアムカーへの新車装着だけでなく、競争の激しいモータースポーツ分野においても長年にわたって採用されています。

新型「SOLTERRA」は、EV 専用プラットフォーム e-SUBARU GLOBAL PLATFORM（イースバルグローバル プラットフォーム）を採用した初めての SUBARU 車で、SUV モデルの EV です。「SOLTERRA」の開発は、この新型プラットフォームだけでなく、商品企画、設計、性能評価などの多岐に渡って SUBARU とトヨタが共同で行っており、SUBARU が長年培ってきた AWD 技術とトヨタの持つ優れた電動化技術を活用するなど、両社がそれぞれの強みを持ち寄ることで、EV ならではの魅力を持つ新しい SUV づくりに取り組んでいます。^{※3}

横浜ゴムは 2021 年度から 2023 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023 (YX2023)」（ヨコハマ・トランسفォーメーション・ニーゼロニーサン）のタイヤ消費財事業において高付加価値商品の販売構成比率最大化を掲げ、「ADVAN」および「GEOLANDAR」の新車装着拡大に取り組んでいます。プレミアム EV への新車装着は、確かな技術がなければ実現しえない戦略のコアと考えています。これまで、モータースポーツや EV レーシングカー開発などで積み上げた経験を駆使してさらに技術を底上げし、今後も時代の変化に対応していきます。

※1 Battery Electric Vehicle（電気自動車）

※2 Humans and AI collaborate for digital innovation をもとにした造語

※3 2021年5月11日 SUBARUニュースリリース https://www.subaru.co.jp/press/news/2021_05_11_9750/
「SUBARU 2022 年に発売する新型 EV の名称を「SOLTERRA（ソルテラ）」に決定」より引用



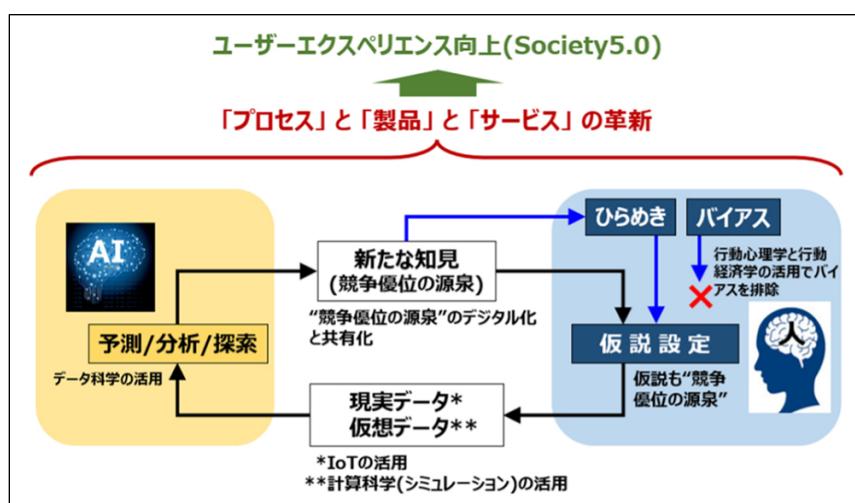
「ADVAN V61」



新型「SOLTERRA」

※本画像は（株）SUBARU の許諾を受け掲載しております。

本画像の他への転載、転用を一切禁止致します。



「HAICoLab」の概念図

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：岡

TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-5400-4570